

千葉県 地域リハビリテーション協議会 令和5年7月24日(月)	資料4
---------------------------------------	-----

# 地域リハビリテーション出前講座 の実施について



千葉県マスコットキャラクター  
チーバくん

令和5年7月  
千葉県健康福祉部  
健康づくり支援課



1

## 地域リハビリテーション出前講座の実施状況について

### 1 実施の経緯

「千葉県における今後の地域リハビリテーション支援体制のあり方に関する報告書」(平成27年度作成)

⇒⇒⇒ 地域組織や教育機関への働きかけが重要







国立・私立を含む県内のすべての小学校  
に通う5年生～6年生を対象として出前講座を実施

2

## 地域リハビリテーション出前講座の実施状況について

## 2 目的

- 
 あらゆる人々が安心して暮らすことの出来る地域社会の実現に向け子供の頃から高齢者や障がいのある方の特徴を理解することが望ましい。
- 
 そのためには、子供たちが地域リハビリテーションを学ぶ場を教育機関が積極的に設けることが重要である。
- 
 希望する小学校にリハビリテーション専門職を派遣することにより、子供たちに地域リハビリテーションへの理解と関心を促すことを目的とする。


3

## 地域リハビリテーション出前講座の実施状況について

## 3 これまでの実施状況

【平成28年度～平成29年度（試行）】

講 師：千葉県リハビリテーション支援センターのリハビリテーション専門職

年 度	実施校数	内 容
H28年度	12校	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車椅子体験、</li> <li>● 高齢者の視力・聴力の疑似体験</li> <li>● 高齢者歩行の疑似体験</li> </ul> 
H29年度	11校	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車椅子体験、</li> <li>● リハビリテーション専門職の仕事体験※</li> </ul>

※リハビリテーション専門職の仕事体験は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の仕事内容を知るとともに、補助具等を使用している場面を体験する内容。

4

## 地域リハビリテーション出前講座の実施状況について

## 4 これまでの実施状況

【平成30年度～（本格実施）】

講師：各地域リハビリテーション広域支援センターのリハビリテーション専門職  
 ※必要に応じて千葉県リハビリテーション支援センターやちば地域リハ・パートナー等も参加

年 度	実施校数	内 容
H30年度	7校	● 車椅子体験
R元年度	11校	● 車椅子体験、 ● 地域の健康づくり体験（災害時の避難所支援）
R2年度	2校	● 車椅子体験 ● 高齢者疑似体験 ● 介助体験
R3年度	4校	● 車椅子体験 ● 地域の健康づくり体験 等
R4年度	4校	● 車椅子体験 ● 地域の健康づくり体験

5

## 地域リハビリテーション出前講座の実施状況について

## 5 昨年度の実施状況



圏 域	市町村	実施校数	対 象	内 容
東葛南部	習志野市	1校	5～6年生	避難所での健康増進について
印 旛	富里市	1校	4年生	車椅子体験・介助体験
	四街道市	1校	4年生	車椅子体験・介助体験
山武長生夷隅	勝浦市	1校	5～6年生	車椅子体験・介助体験
	計	4校		

6

## 地域リハビリテーション出前講座の実施状況について

## 6 今年度の実施要領について

- 出前講座の対象は、県内の国立、公立及び私立小学校に通う原則5年生～6年生とする。
- 1つの保健医療圏で3校程度を目安とし、令和6年2月末までを実施期間とするが、保健医療圏ごとに実施時期が集中した場合は、千葉県が学校と調整する。
- 各小学校への周知については、令和5年6月19日付けで、県健康づくり支援課において、以下のとおり実施案内を通知済みである。

【国立の小学校】 県健康づくり支援課から直接通知

【公立の小学校】 県教育委員会を經由 ⇒ 各公立小学校

【私立の小学校】 県総務部学事課を經由 ⇒ 各私立小学校

7

## 地域リハビリテーション出前講座の実施状況について

## 7 今年度の実施方針について

- 実施を希望する校数が、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準（11～12校程度）に回復することが見込まれる。
- 市町村数が多い圏域など、単独では講師の手配が難しい場合は、県支援センターや他の広域支援センターによる応援体制をとることにより、可能な限り学校側の実施ニーズに応えることとしたい。

8

## 地域リハビリテーション出前講座の実施状況について

**8 出前講座をより良いものとするために**

- 実施校数を増やしていくには、以下のような課題がある。
  - 担当教員等が多忙のため、外部講師の受入れ準備等が負担。
  - 魅力あるプログラムが学校側に提示できていない。
- 県支援センターと広域支援センターとの意見交換でも、参加者から様々な意見が上がっている。
  - 学校側に事務的負担をかけない開催手法を検討しよう。
  - 学校側の興味を引くようなプログラムや、動画等の手軽に活用できるコンテンツの作成について検討してはどうか。
- 学校・提供者の双方が「**やって良かった、またやりたい**」と感じられる出前講座となるよう今後も関係者と検討していく。

